



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

かわさき健幸福寿プロジェクト

要介護度等改善・維持評価事業について



川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

「したい」「やりたい」をあきらめない！

高齢者の自立支援に向けた質の高いケアを評価する仕組みの構築を目指して、平成26年度から開始したプロジェクトです。

介護が必要になっても、「こんな生活を送りたい」という目標を持って、

介護サービス事業所と一緒に、その達成に向け、

要介護状態の「改善」や「維持」を目指すことを目的としています。

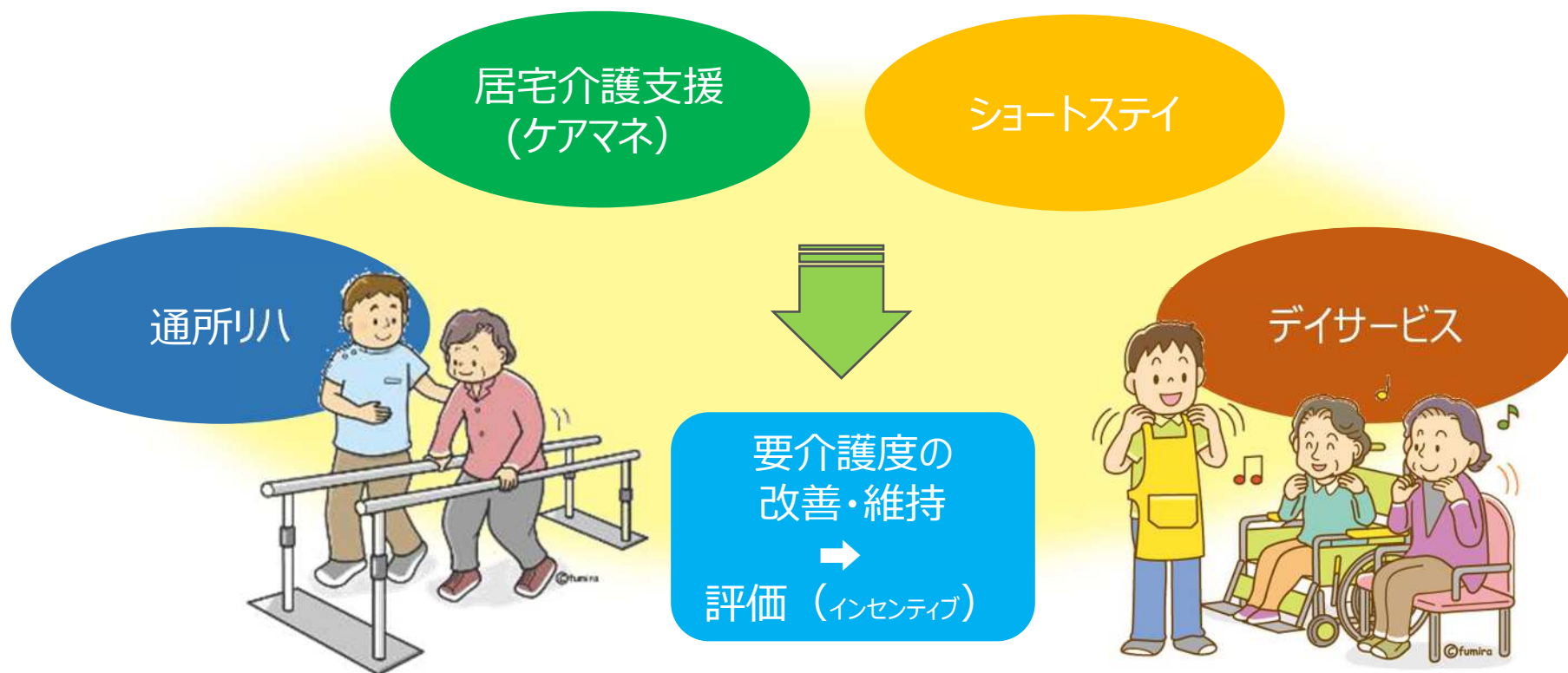


応援サポーターとして
風間トオル氏に
就任していただいています。



『チームケア』による介護サービスの成果を評価！

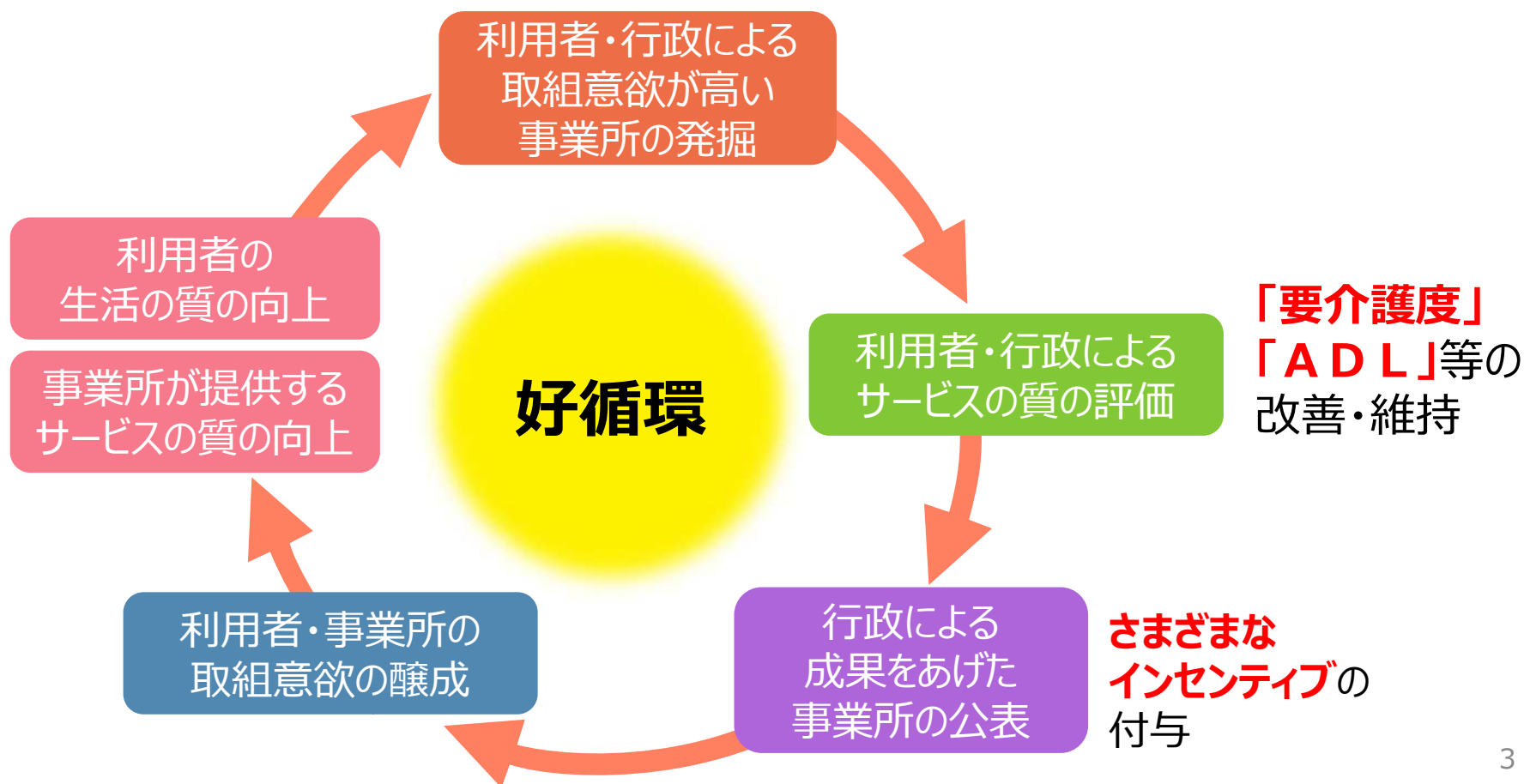
居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）を中心とした、他職種連携による相乗効果により、質の高いサービスの提供を行い、その成果について評価を行います。



特別養護老人ホームやグループホームにおいても同様に、配置される様々な職種の職員間連携によるチームケアを評価しています。

「自分らしい生活」に向けた好循環

参加した皆様の**意欲向上**など、前向きなチャレンジを後押しすることができます。
また、事業所の努力や工夫をしっかりと評価することによって、事業所のモチベーション向上やスキルアップによる**サービスの質の向上**が期待できます。



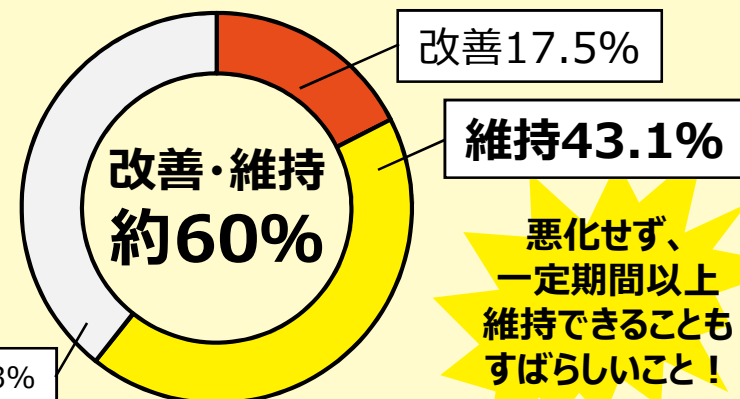
『かわさき健幸福寿プロジェクト』の効果 ～利用者～

★ 要介護度の「改善・維持」 (プロジェクトの結果)

このプロジェクトに参加された方のうち、
約2割の方の要介護度が「改善」

**4割以上の方が、参加していない人よりも
要介護度を「維持」する期間が長い**

改善・維持以外39.3%



★ 要介護度の「軽度化」 (全国平均との比較)

このプロジェクトに参加された方は、
全国平均よりも、**介護度が軽くなる人が多く、重くなる人は少ない**

介護度が軽くなった人の割合

かわさき健幸福寿
プロジェクト参加者

20.1%

全国平均

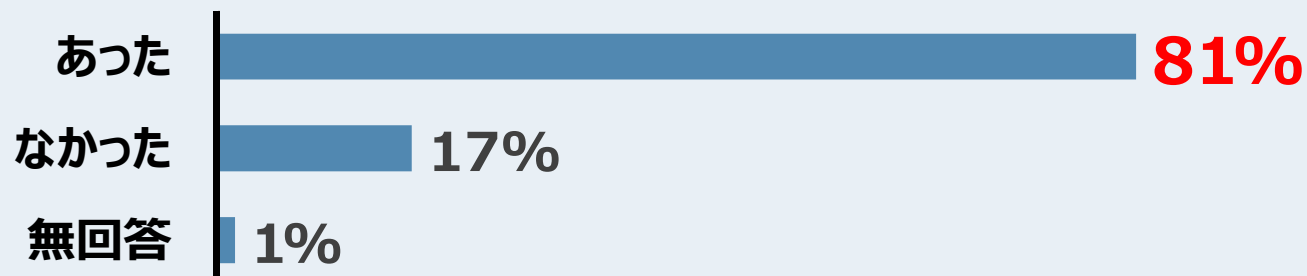
8.6%

2倍以上

※厚生労働省公表の介護給費実態調査結果と同じ方法で集計し、全国平均の軽度化率を比較

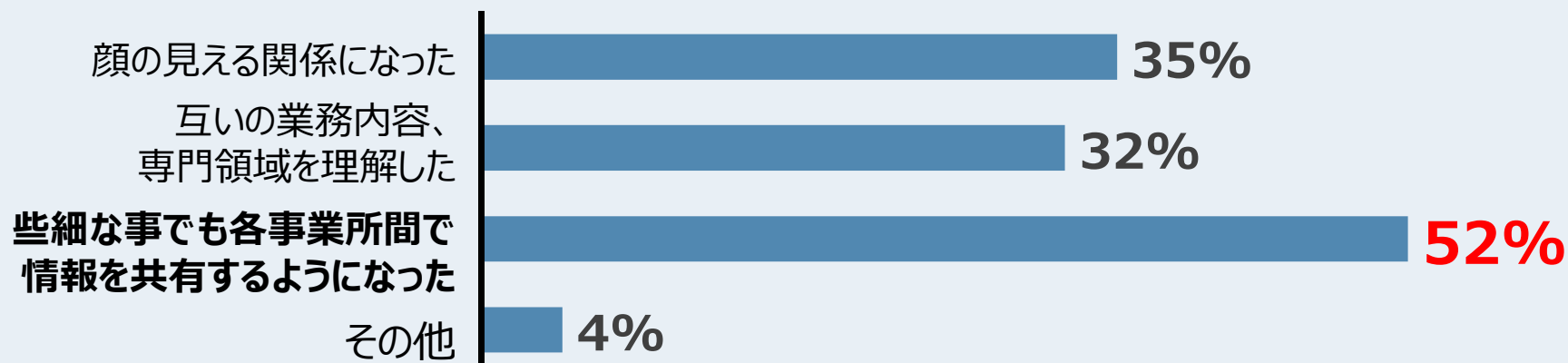
★ 参加事業所へのプラス面の影響（第6期）

プロジェクト参加を通じて「**80%**」を超える事業所に、**プラス面の影響があった**と回答



★ 多職種連携の変化（第6期）

多職種連携の変化が生じた事業所では
些細な事でも各事業所間で情報を共有するようになったと回答



■ 対象者の要件

**要介護1～5の認定を受けている方で
川崎市の介護保険証をお持ちのすべての方**

※令和5年7月1日時点で要介護認定を受けている方が対象となります。

※直近の要介護認定時と比較してプロジェクト参加申請時点の心身状況に著しい改善がみられる方や給付制限等の対象になっている方は、参加できません。

■ 参加資格（事業所）

市内に所在する**全ての介護保険指定事業所**が対象となります。

複数の介護サービス事業所がケアに関わっている場合、現時点では、**居宅介護支援事業所が代表（申請者）**となってチームとしての参加申請をしていただきます。

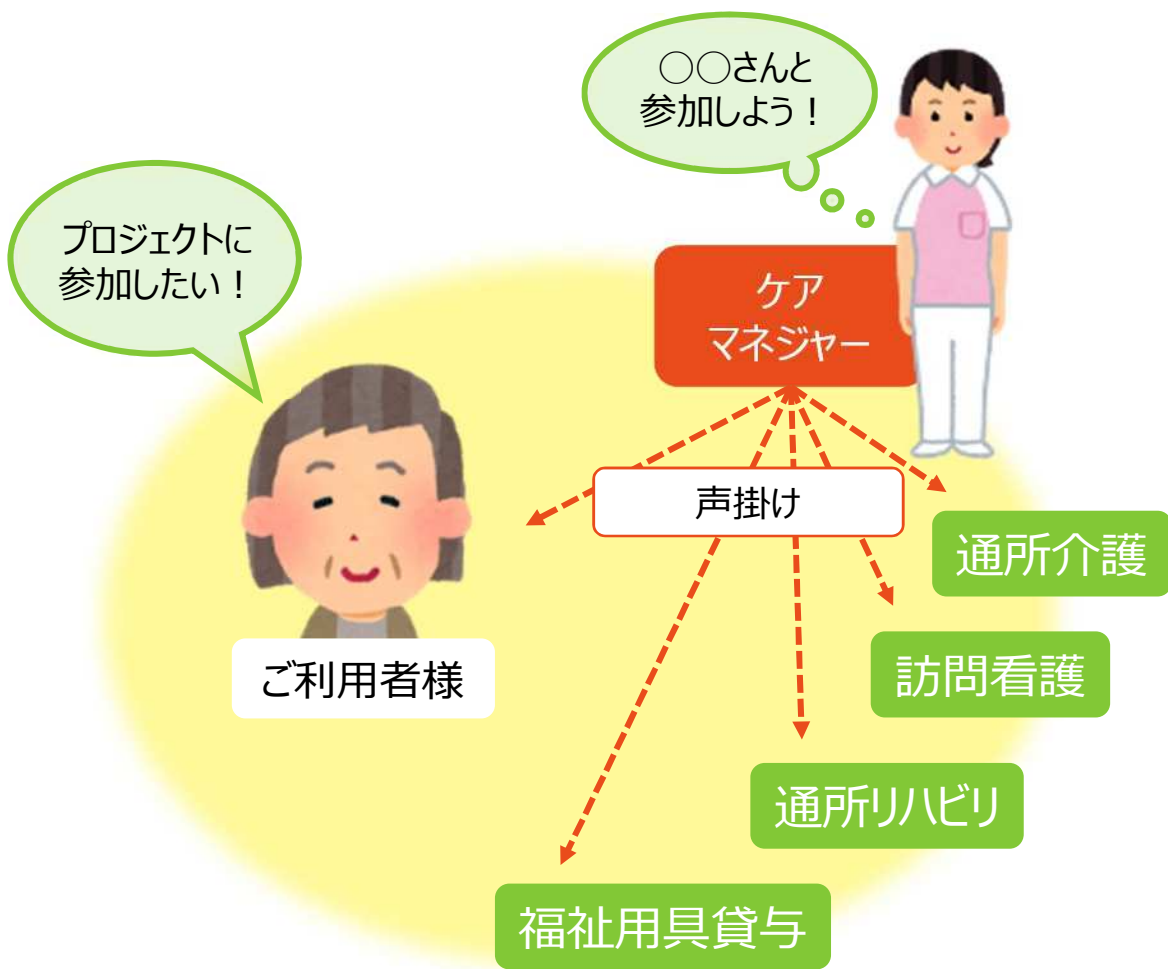
※今後、全ての介護保険指定事業所が申請者となれるよう、変更する予定です。

参加までの流れ

ご利用者様のご希望や
事業所様からのお声掛け

参加チーム結成！

ケアマネ事業所※より
申請書・同意書を
川崎市に提出



申請は、オンラインでも受付をしています。
※今後、全ての介護保険指定事業所が
申請者になれるよう、変更する予定です。



プロジェクトの1年間（7月から翌年の6月まで）

ご利用者様の「したい」「やりたい」を叶えるために・・・

自立



支援



介護

その目標に向うための“きっかけ”に！！

- ◆ チームでプロジェクトに参加していることだけは忘れずに！
- ◆ 要介護度の更新や区分変更申請により、取組結果を確認されることをお勧めします！（手続きを強制するものではありません）

終了後

- 要介護度等結果の報告は不要です。
- 表彰式を開催致します。

お願い！

- 年1～2回、市からアンケートのご協力をお願いしています。
- 事例集等の取材をお願いすることがあります。

■ 評価指標

要介護度

令和4年7月1日時点と比べて、期間終了時点で**改善**した場合
その他、改善に至らなかった場合であって、同一の要介護度を**一定期間を超えて維持**した場合

A D L 等（変化を測るため、認定調査票における能力評価の調査18項目を指標として用いる）

令和4年7月1日時点と比べて、期間終了時点で**改善**した場合
（A D L改善の評価は、直近の要介護認定時に、本市の認定調査を受けている方に限ります。）

■ インセンティブ付与

参加事業所

- ◆ 報奨金 5万円程度
（「要介護度の改善」又は「A D L等の一定以上の改善」があった場合）
- ◆ 市が主催するイベントにおける市長表彰
- ◆ 成果を上げたことを示す認証シールの交付
- ◆ 市の公式ウェブサイト等への掲載
- ◆ 事例検討会等における公表や事例集への掲載



参加利用者

- ◆ 市が主催するイベントにおける市長表彰
- ◆ キーホルダーや参加の証（あかし）カードの交付
- ◆ 記念品（「要介護度の改善」又は「A D L等の一定以上の改善」があった場合）



表彰式の様子



- 要介護度を改善される等顕著な成果を挙げられたご利用者様とご家族、事業所職員を表彰
- 表彰に併せ、応援サポーターである風間トオルさんの記念トークを実施

川崎市では、参加いただいた事業所の「頑張り」が伝わるよう、市民の方へ、「積極的に広報」を実施しております。

発行物や市ホームページ等で参加事業所を広報



表彰式にて一覧を配布

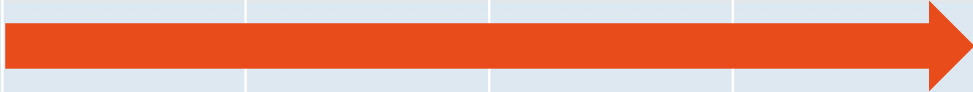









事例集の作成

取組事例の紹介
参加事業所一覧を掲載



第8期事業スケジュール

	令和5年			令和6年		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
事業期間						
参加受付						
結果集計・評価						
アンケート調査						
講習会等	 説明会	 事例検討会		 事例発表会		 表彰式

表彰式について

第8期プロジェクト終了後、8月～9月頃に皆様の取組を発表し、その成果を讃えるため、川崎市長による表彰式を開催する予定です。

説明会・事例検討会・事例発表会等

プロジェクト参加事業所の皆様に有意義な研修会や講習会等を行う予定です。

1. **煩雑な手続きは一切ございません！**
(申請書とご利用者様の同意書の送付で完了です。)
例えば…月々の報告書の提出などはございません。
2. **多くの参加事業所より、本プロジェクトに参加することでプラスの効果があったとの回答をいただいています！**
職員の“気づき・行動変化”が期待できます！
3. **介護サービス事業所として、すでに持たれている「改善・維持」の意識向上に、このプロジェクトを活用していただければと存じます！**

**「したい」「やりたい」をサポートしている、
介護サービス事業所を応援させていただきます！！**

